

統合開発環境High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- リアルタイムOS使用時のビルドエラーメッセージに関する注意事項

1. 内容

リアルタイムOSを使用したプロジェクトをビルドした際にリアルタイムOSのジャンプテーブル生成ユーティリティがエラーもしくはウォーニングメッセージを出力した場合、High-performance Embedded Workshopはこれらのメッセージをエラーと判断しません。よって、Outputウィンドウに表示されたこれらのメッセージに対して、エラーもしくはウォーニングマークを付けません。また、ビルド完了時に表示するエラーおよびウォーニング数にカウントしません。

2. 発生条件

High-performance Embedded Workshop上で以下に示すいずれかの組み合わせでコンパイラパッケージ製品とリアルタイムOS製品を使用している場合に発生します。

- (1) R32C/100シリーズ用Cコンパイラパッケージ V.1.01 Release 00
R32Cシリーズ用リアルタイムOS M3T-MR100/4 V.1.00 Release 00
- (2) M32Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.41 Release 00 および V.5.41 Release 01 のいずれか
M32Cシリーズ用リアルタイムOS
M3T-MR308 V.1.10 Release 1 ~ V.1.20 Release 1B のいずれか、または
M3T-MR308/4 V.4.00 Release 00 および V.4.00 Release 01 のいずれか
- (3) M16Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC30WA V.5.42 Release 00 ~ V.5.43 Release 00 のいずれか
M16Cシリーズ用リアルタイムOS
M3T-MR30 V.3.10 Release 1 ~ V.3.30 Release 2 のいずれか、または
M3T-MR30/4 V.4.00 Release 00

3. エラーおよびウォーニングメッセージの確認方法

ジャンプテーブル生成ユーティリティのエラーおよびウォーニングメッセージは、Outputウィンドウ内のBuildタブ内のリンクフェーズメッセージの先頭行の直後に表示されます。Outputウィンドウをスクロールしてリンクフェーズの先頭行を見つけ、表示されたメッセージを読んでそれらがエラーおよびウォーニングメッセージかどうか確認してください。

4. 恒久対策

本問題は、コンパイラパッケージに含まれるHigh-performance Embedded Workshopのモジュールに起因します。発生条件で示したコンパイラ製品の次期バージョンに改修したモジュールを同梱する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。